

調査企画部会（第7回）委員意見への対応

《第7回》

- 委員からの意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【29件】
 - ・「幅を持った社会システム」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
 - ・「気候変動による水資源への影響検討会」の検討状況報告・・・・・・・・・・・・ 12件
 - ・今後の水資源政策の具体的な取組に対する論点整理・・・・・・・・・・・・・・ 12件

調査企画部会(第7回)委員意見への対応

○「幅を持った社会システム」について—幅を持った社会システム—

○非効率というものが、幅を持ったというところに入り込まないように、言及した方がよいのではないか。

○社会風土、文化の醸成あるいは国際貢献、海外展開など、全て社会であり、3つの社会と区別する必要はないため、「3つ」という言葉は使わない方がよいのではないか。

○「幅を持った社会システム」の概念は、この中間とりまとめに入るのか。

○東日本大震災では「想定外」という言い訳を聞いてきたが、水資源に関しては、「想定外」と言い訳しない方がよい。

○「社会」と「システム」と「全体システム」の関係が若干わかりにくい。



- ・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。



- ・ 資料4で説明します。

○「気候変動による水資源への影響検討会」の検討状況報告

- ゼロ水が発生した場合の社会の痛みについて、平常時からのPRや教育が非常に重要ではないか。
- ゼロ水を起こさないことが大事だと思う。ゼロ水の発生を前提とするべきではない。
- 危機時に備え、平常時にもう少し水にゆとりを持たせることはとても大切で、こういう水を生み出すことが、河川の生態系あるいは環境保全につながっていく。
- 「川の水をきれいにする」、「環境基準を見直す」という文言を入れてほしい。
- 取排水の変更だけでは川の水はきれいにならない。農畜産排水、工業廃排水、下水をきれいにして流すという意気込みがほしい。



- ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○「気候変動による水資源への影響検討会」の検討状況報告

- 70～80%の給水制限が行われた時に、一体どういうことになるのか具体的なイメージが湧くような工夫が必要ではないか。
- ゼロ水について、過去に起こったことと、何が違って厳しい状況になるのか。



- 気候変動による水資源への検討会資料で説明します。

○「気候変動による水資源への影響検討会」の検討状況報告

- 渇水時の海外の対応で、水の輸出や輸入などの対応はないのか。
- 海外の水資源の安全率の概念はどうなっているのか。
- 海外における渇水への対応について、規制の我が国への適用の可能性や消費者に対してどのくらい作用するのかを法文と併せて分析すべき。
- 海外、特にアメリカでは、希少種の保護の問題がすぐに大きな問題として出てくるが、水環境・生態系に対する需給関係の配慮について情報を補った方がよいのではないか。



- ・ P5で説明します。
- ・ ご指摘を踏まえて、文献等を収集し、実情を把握して、十分に検討してまいります。

○「気候変動による水資源への影響検討会」の検討状況報告

○過去の計画基準年について、異常気象も発生するため、危機管理という観点で計画を作るという転換が必要ではないか。



- ・ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○今後の水資源政策の具体的な取組に対する論点整理

○生態系、水質、流域別下水道整備総合計画など、統合的にフルプランに取り込んだ方がよいのではないか。

○新しい考え方としては、新たに緊急に取り扱うべきものや従来型の発想ではなく、さらに強化するものがあるんだというメッセージが無いとインパクトが無い。

○全総の水版を考えていると思うが、新しいコンセプトは何なのか。インパクトが無い。

○再生水利用の場合は、環境管理、特に汚染物質の管理という視点が重要である。

○エネルギーと物質循環について、下水熱の利用やバイオマス等の物質のエネルギーの循環が重要であるという視点を入れた方がよいのではないか。

・ ご意見を踏まえて、どのように取り組んでいくかをフルプランのあり方とともに十分に検討してまいります。

・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○今後の水資源政策の具体的な取組に対する論点整理

- 水インフラの老朽化への対応について、トータルコストの低減について少し書いた方がよい。
- 「水はあらゆる生命の根源であり、人間にとって」という表現について、水は生態系にとって非常に重要なので、「全ての国民が」としていいのか。
- 1人平均1日300リットル使わなくても、5リットルあれば死にはしない。健康で文化的な生活をするには、これだけ大量の水を安価に利用可能にすることが不可欠だということを盛り込んだ方がよい。
- 情報提供開示の適切なあり方という視点が必要ではないか。



- ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○今後の水資源政策の具体的な取組に対する論点整理

○平成20年の中間取りまとめとの対比表を、できれば中間とりまとめの参考資料に添付した方がよいのではないか。



・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの参考資料に反映させていただきます。

○検討すること、計画的に進めること、推進することなどの意味を示してほしい。



・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○2050年という目先のことではなくて、2100年、2200年、2300年後、水資源は大丈夫だという意志を示した方がよいのではないか。